

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2025 年

11 月

243号

◇ 万人成仏の教え
◇ 仏になる方法
◇ すべては仏になるための修行



ホームページ

宗教法人 真生会

令和七年信仰目標

仏の智慧を身に付けよう!!

『自分の成長と人救いのために』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

真生会大阪教会 新築建て替え事業 地鎮祭

十月十五日、大阪教会において新築建て替え事業の地鎮祭を執り行った。ご来賓の株式会社アクトクリエイティブトラスト会長 田中基之様、新築設計士の株式会社SYNC代表取締役 山田茂宏様、施工会社の株式会社花岡工務店社長 花岡雅仁様、真生会本部から田中庸仁会長先生、田中祥陽教務長、大阪教会から谷口祐晟参与夫妻、大西啓依子教会長、坪井事務



地鎮祭を祝い記念撮影

長をはじめ会員信者の代表が参列した。開式の辞、魔除け切り火の儀、導師勧請、読経供養に続き、四方お浄めの儀、地鎮の儀を執り行った。導師挨拶に立たれた会長先生は参列者、会員信者への謝意を述べられ、新築道場の建立の願いとして開祖さまが願われた真生楽園建設の大目標に向かうことを力強く語られた。最後に谷口参与による清酒お祝いの儀にて工事の無事安全を願い、参列者一同で乾杯をして祝った。



地鎮祭の参列者へ向け
導師挨拶をされる会長先生

四方お浄めの儀の様子



清酒お祝いの儀で乾杯



第33回 大観音まつり

十月二十六日、総本山真生寺において第33回大観音まつりを執り行った。各教会からも参拝者が集う中、雨天のため、本堂にて開催。導師会長先生による式典開始報告文奉上から始まり、導師式衆入堂、子供奉献の儀、ご詠歌奉納に続き、真生大観音さま胎内仏供養並びに子孫繁栄総供養読経を厳修した。



大観音まつりを祝したご真教法話



モニターに映る大観音様

式典終了報告文奉上が行われた後、参拝者は会長の先生のご真教法話の中で観音経の経文である「世に一人でも不幸な人がいるうちは自分だけが幸せにはならない、人様の苦しみを代わりに受け、大悲代受苦のお誓いをする」と述べられた。式典後、光徳会館にて昼食会を行った。お弁当、焼きそば、ポップコーンが並び、参拝者は昼食を楽しんだ。他にも設置されたゲームコーナーで子供たちが遊んだり、マスコットキャラクターも登場し、会場は盛り上がった。最後に祝賀餅まきが行われ、【念彼観音力】と掛け声をしながら威勢よく紅白餅が参拝者へまかれ、元氣よく餅を拾い、笑顔が溢れる中で、第33回大観音まつりを終えた。



観音大慈悲ご詠歌を唱和し奉納がされた



各家庭の子孫繁栄総供養が読上げられた

トララと記念撮影をする先生方と子供達



御礼ご挨拶に立たれた谷口祐晟参与



青年部でお揃いのTシャツを着て撮影



（和やかな昼食会
（大阪教会の皆様）



威勢よく紅白餅が撒かれ必死で拾う様子



会長先生のご挨拶の後、祝賀餅まき開始



真生会会員限定フォトアルバム開設案内

【観覧方法】

スマートフォンで下記 QR コードを読み込み、SUZURI アルバム byGMO ペパボへのアクセス。

合い言葉を入力して、「アルバムを見る」を押すと写真の観覧やダウンロード・写真注文をしていただけます。

※合い言葉は別途、会員様へお知らせいたします。
ご不明な場合は、総本山真生寺へお問い合わせください。



↑ 第33回大観音まつり



↑ 真生会大阪教会 地鎮祭

※観覧可能期間はアルバム作成日より 30 日間



たなかひでひと

田中偉仁開祖さまのみ教え

人間生活の喜びは、人の交わりの中から生まれるのです。金や地位、学問は人間生活を豊かにする方便（仮りの物）である事を知らねばなりません。金を使う事によって、親子が仲良く暮らせるのであったら、大いに使うべきでありま

す。知恵を出す事によって皆さんが喜ぶのであれば、その知恵や学問は正しいのであって、大いに生かし使うべきです。地位がある事によって大衆を善導し、幸福を与えるのであったら、大いにその地位を使うべきでしょう。人間同士の交りに人を悪く見ない、豊かな包容力のある人になったら、幸福の大魚は求めなくとも充満するはずであります。このように生きる人の道を伝えるのが真の仏教であり法であります。更に仏法に近づき良き師に接近する事です。朱に交われば赤くなるように、必ず知らぬ内に自分が変り、考え方が向上して参ります。

（1985年、真実に生きる54号より）

ご真教法話

会長 田中 庸仁
たなか つねひと



◇万人成仏の教え

人にはそれぞれ人生の目的があります。学者になりたい、政治家になりたい、スポーツ選手になりたい、芸術家になりたい、医者になりたい、実業家になりたいなど、やりたい自分、やりたい仕事があります。それを別願べつがんと言い、各人の自由です。

それとは別に、仏教ではすべての人に共通する人生の目的があると教えています。人は何のために生まれ、何のために生きるのかという究極の目的のことを総願そうがんと言います。

八万四千巻あると言われる仏教の膨大なぼうたい經典の中で、法華経は諸経中

の王と言われ、釈尊の本当のお心が説かれた本懐經ほんかいきやうとも言われます。法

華經以外のお経にはない人生の目的、最大の特徴は大きく二つあります。

①万人まんびとがすべて仏になれるそくしんじやうぶつ 〓 即身成仏です。

②現実社会が寂光浄土じやくくわうじやうど（煩惱のない、仏の智慧の光りに満ちた、清らかで平安な世の中）になる 〓 娑婆即寂光土です。

◇ 仏になる方法

仏になる！そんなことは無理だと思われるかもしれませんが、經典には誰でも成仏できる方法がしっかり書かれています。

「心に大歡喜だいかんぎを生じて、自らみづか當に作仏さぶつすべしと知れ」（方便品第二の末

尾）とあります。つまり、何を見ても聞いても「ああ、ありがたい。ああ、

嬉しい」と心の底から大喜び出来たら、自分の力で仏に成れると明言さ

れています。それには凡夫の常識の知恵ではなく、「仏知見ぶつちけん」という仏

さまの智慧ちえを身に付けることです。病苦も経済苦も人間関係の苦も人格

を磨き仏になるための試験であると「現実をそっくりそのまま報恩感謝

の心で受け取り、ありのままを喜ぶ」という仏さまのものの見方、考え方を体得することです。

法華経を心から信じ受持して南無妙法蓮華経を身に口に心に唱え続けられ、常に仏と共にあつて仏のものの見方ができるようになり、どこを見ても誰を見ても光り輝く「寂光浄土」になるのです。

★たたかれてたたき返せば地獄なり（凡夫の行動）

★目には目を、憎しみには憎しみを（凡夫の考え方）

★怒りは自らを害する毒。怨みは怨みを捨ててこそ已む^や〓仕返しをしない（仏の考え方）

★すべては自分の心の現れであり、心が変われば人生が変わり世界が変わります（一念三千）

★無理言う人は子供だと悟りて怒らず哀れめよ（慈悲の心で見る）



★徳さえ積みめばこの世でも極楽浄土目の前に（徳が本なり、財は末なり）
◇すべては仏になるための修行

三年前、見た目はパワフルで屈強な事業家が、ある方の紹介で肺がんの手術直前に藁わらをもすがる心境で相談にいられました。

「誰か身内で喜べない人、赦ゆるせない人、怨うらめる人はありませんか」とお聞きしますと、どうしても赦せない不仲な兄弟があるとのことでした。

「人を呪のろわば穴二つ」と言いますから、その兄弟を赦して悪く見ないことの大切さを懇々こんこんとお話ししました。涙を流しながら「分かりました、やってみます」と決意して帰られました。手術は成功し、順調に回復し仕事にも復帰されましたが、それ以後はご法縁に足を運ばれることはありませんでした。

先日、三年ぶりに突然訪ねて来られました。

多少足元が不安定で目も焦点がはつきりしていないように見受けられましたので、どうされましたかとお尋ねしますと「今年の春に人間ドッ

クで全身検査した時には何の異常もありませんでしたが、二ヶ月ほど前から激しい頭痛が続き、ふらつくこともありましてので、別の病院で診てもらったから四センチ大の脳腫瘍のうしゅようが見つかり、明日入院して五日後に手術です。ご無沙汰していましたが不安になってもう一度先生にご相談したくて来ました。」

「以前の肺がんの転移ですか？」

「切除して検査してみないと、転移か原発か分かりません。転移なら悪性で心配です」と不安な様子でした。その上、圧迫骨折で入院していた九十才の母が昨日退院したばかりで、入れ替わりに息子が手術入院することが申し訳ないと涙を流されます。

三年前は病気の原因について、心の切り替え方をお話しました。今回は子宮がんステージ4から無事



退院された女性の事例でお話しました。

「大病を患^{わづら}つて病院を退院する出口は二つあります。一つは全快して元気に卒業する表玄関、もう一つは臨終^{りんじゆう}となつて見送られる裏口です。」病院の表玄関から元気に卒業する方法をお教えしました。

①優等生の患者になること。つまり医者や看護師に不平不満を言わず、いつも感謝の心で何をしてもらってもありがたいと言うこと。

②今日までの自分の人生を肯定的^{こうてい}に考え、自分は幸せ者である。事業も順調で有り難い人生だと感謝すること。

③九十才になる母親を見送るのは自分の役目だから、必ず元気になつてその役目を果たしますとお誓いすること。

①は性格上難しいですが、頑張ります②もよくわかりました③の母のことには目を潤^{うる}ませながら、決意を強くされました。

行えば実るのが仏さまの教えです。実行されれば、きっと良くなれますよと励ましてお送りしました。

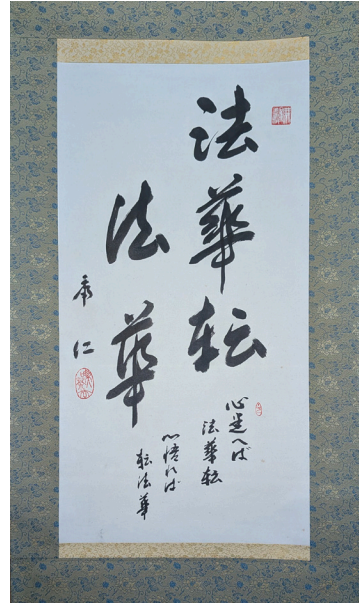
先師の名言、名句

道元禪師の正法眼藏しょうぼうげんざうにある言葉です。

心迷えば法華に転ぜられ、心悟れば法華を転ず。「法華」とはありのままの現実であり、仏さまの「真理」そのもののことです。

欲の心で迷っている時は現実に振り回され右往左往するが、欲を離れて心に動揺が無くなれば結果現象を変えることが出来るのです。

つまり、何事も自分の心が作り出している現象なのだから、心が変われば目の前の現象が変わるということです。



ほっけてんほっけ
法華転法華

田中庸仁会長先生書

今月の運勢（12月）

（2025 年 1 2 月 7 日～2026 1 月 4 日）

一 白水星

八方塞がりです新しいことを始める時ではない。陰役でよく働く一白だが、今は活発な動きを止めて心身ともにゆっくり休まりフレッシュしよう。朝夕の先祖供養をしつかりと。

二 黒土星

主と従、目上と目下、老と若が仲良く交われば望みごとはすべて叶う。互いの持ち分を守りながらも相手を理解する和の心が大切。心には固い信念を持ちながら、相手には優しく謙虚に接すること。

三 碧木星

収穫の時だが最初に無

理をすると最後まで苦労する。機が熟すまで待つこと。順序を守り、強引にはしていない。準備が整っても勝負はしない。何事も明るく振る舞うこと。

四 緑木星

大きな壁にぶつかるが、水が流れるようにゆつくりと徐々に順を追って進むことが大切。約束事や契約は中間に信頼できる人を入れ、万端の準備をして細心の注意を払って進むこと。

五 黄土星

情熱と新しいアイデアが湧き出て明るく活躍できる。何事も感情的

になると大きなトラブルに発展する危険性があるので気を付けること。隠れていたことが白日の下にさらされるので行動に注意。

六 白金星

運気の谷間にあり冒険的行動は凶。自分は間違いないと考えて人と衝突しないように。自分の判断は控えて公平な立場の人の助言に従うと良い。非があれば素直に改めること。

七 赤金星

喜びが喜びを産み、人も物も集まって来る。信頼できるリーダーに従えば、多少の犠牲は払っても積極的に打っ

て出ても利がある。予期せぬ出来事にも備えを忘れないように。

八 白土星

生活の在り方を見直す時。先ず収入を正しい方法で得ているか見直そう。目先の欲に走ると失敗する。養うべき人を正しく養つていれば吉となる。人生観が問われる時である。

九 紫火星

高運期で大いに発展の時を迎えている。難しい問題も難しい人もじっくり取り組んで手間は解決する。将来を見据えて新しい人材を育てる好機でもある。

「まごころ誌代」御礼

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

飯田昌子	亀井由実子	土川恭代	東森敦巳	大下裕子
飯田修五	熊田啓予	土川康二	石丸祐視子	坂本育身
山田佳延	足立和美	土川廣美	大西啓依子	宮島りえ
横井志奈子	鈴木快法	横山知津子	荒木敬依子	出田 梓
松尾定洋	高橋身衣	山本季美衣	谷口祐晟	樋口恵美子
山辺眞一	早野起世	佐藤百々枝	谷口祐子	樋口容子
多田佳央	豊田直正	佐藤光洋	滝山恵依子	小村友子
田中庸仁	豊田真悠子	伊東 晃	笹原トミ子	長尾夏芳里
田中佑季子	早野桂子	安田初子	笹原正子	細谷早予子
田中祥陽	加藤祐記子	福元正子	村上視佑記	滝本光夫
田中理夏子	堀部恭利	京川春男	平口富子	山田美保子
田中宏明	堀部祐美衣	鈴木正巳	永田雅子	広田えり子
田中花音	加納啓至	亀井善二	小林佑実子	大橋末子
亀井善広	土川順寛	岸本周夫	坪井祥子	

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の
宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円 / 月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

誰かの見えない努力に
ひと言「ありがとう」と
言えますか！
世の中は無関心ではあり
ません。誰かがきっと見
ています。
頑張って来て良かったと
いう人生を送ろう。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします